

エクセルシアAS

移設・作業手順

■ 移設前 準備作業

I. 処理槽の洗浄

1. [洗浄]を押し、洗浄プログラムを選び、[開始]を押し
2. 洗浄が終了したら、蓋を開け、処理槽をよく拭き OK を押し。

II. プログラムのバックアップを取る

1. 前面扉を開け、USBメモリーをUSBポートに挿入する
2. [オプション]—[ファイル操作]—[プログラムの保存]の順に押し。
3. 【全てを選択】を押し 全てのプログラムを指定し、【OK】を押し
4. 【洗浄】を押し、【全てを選択】を押し 全てのプログラムを指定し、【OK】を押し
5. [設定の保存]を押し
6. 保存が完了したらUSBメモリーを抜く。
7. 2回【OK】を押し、メイン画面に戻る。

III. 試薬の廃棄

1. [オプション]—[機器の設定]—[試薬の排出]の順に押し
2. ワックス廃棄トレイを挿入後 W3 が太枠になっていることを確認し、[排出]を押し。
WW に W3 が排出。トレイを取り出し廃棄
3. 新しいワックス廃棄トレイを挿入後、W2 が太枠になっていることを確認し、[排出]を押し。
WW に W2 が排出。トレイを取り出し廃棄
4. 新しいワックス廃棄トレイを挿入後、W1 が太枠になっていることを確認し、[排出]を押し。WW に
W1 が排出。トレイを取り出し廃棄
5. [開始]を押し、F1 キシレン洗浄を開始する
6. X3 に太枠、EX2 が点滅、EX2 に空ボトルを置き[排出]を押し。X3 が EX2 に廃棄される
7. X2 に太枠、EX2 が点滅、EX2 に空ボトルを置き[排出]を押し。X2 が EX2 に廃棄される
8. X1 に太枠、EX2 が点滅、EX2 に空ボトルを置き[排出]を押し。X1 が EX2 に廃棄される
9. [開始]を押し、F2AL 洗浄を開始する。
10. [開始]を押し、F3 水 洗浄を開始する
11. F3 の洗浄終了後、F2 が指定され[排出]、F1 が指定され[排出]、F3 が指定され[排出]を押し、全て
の洗浄ボトルを取り出す。
12. EX1 が点滅するので空ボトルを置き [排出]を押し。指定されているボトルの試薬が排出。
A1, A6, A5, A4, A3, A2 の順に[排出]を繰り返す。
13. WW が指定されるので[排出]を押し、廃棄トレイを取り出す。
14. 全て排出が終了するとオプション—機器設定画面になる。[OK]を二回押し。

PHC 株式会社

エプレディア病理事業推進部

〒105-8433 東京都港区西新橋 2-38-5

tel. 0120-878-279

wg-inq_epredia@ml.phchd.com

<https://www.phchd.com/jp/epredia>

■ 移設

IV. 移設

1. 背面の主電源を切り、切れたことを必ず画面で確認後、コンセントからプラグを抜く。電源コードは、装置から取り外す。
2. 装置を移動する

■ 移設後の作業

V. 試薬の充填

1. 装置に電源コードを取り付け、コンセントにプラグを挿入する。(100V 15Aの単独電源)
2. 主電源を入れる。
3. 試薬保管庫の扉を開け、右上奥にある黒丸ボタン(ヒーターリセットスイッチ)を上押しあげる。
4. 言語選択画面が立ち上がるので、[日本語]を選択しLOKを押す。
5. [試薬の充填]を押す
6. ワックスバスにワックスをいれ、[ヒーターON]を3回押す。W1,2,3のヒーターがONになる
7. F3のボトルに洗浄用の水、F2のボトルに洗浄用のアルコール、F1のボトルに洗浄用のキシレンを入れる。それぞれ5L
8. [確認]ボタンを3回押すと洗浄用の試薬が装填された確認になる。
9. [開始]を押すとF2 ALとF3 水の洗浄が開始する
10. EX1に5Lのアルコールをいれ、[確認]を押すと、A1のボトルに試薬が充填される。
同じように EX1 に AL を充填して[確認]を押し A2 から A6 までのボトルに充填を行う。
11. EX2に5Lのキシレンを入れ、[確認]を押すと、X1のボトルに試薬が充填される。
同じように EX2 に XY を充填して[確認]を押し X2、X3 のボトルに充填を行う。
12. クイック洗浄のために[開始]を押すと F2、F3 の洗浄が開始する。
洗浄が終了したら、使用可能となる。

VI. プログラムの確認

オプションプログラムの編集を押し、使用しているプログラムが保存されているか確認

VII. プログラムが保存されていなかった場合、USB から設定を読み込む

1. USB ポートに USB メモリーを挿入する。
2. 【オプション】—【ファイル操作】—【プログラムの読み込み】【全読み込み】を押す。
3. 【設定の読み込み】を押す、シリアル No のフォルダーを選び【OK】を押す。
4. 読み込みが終わったら、2 回 OK を押してメイン画面に戻る。

VIII. 試運転

1. 検体を入れないで、空で試運転を実行する
[処理]を押し、【レベル】を押し、プログラムを選び、[遅延開始]か、[即時開始]を押し処理を開始。
2. 処理が完了したら、【すべて排出】を押し、ワックスをワックス槽に戻す。
3. 蓋を開け、処理槽を拭いた後、洗浄プログラム名を確認し、【開始】を押す。
4. 洗浄まで無事終了したら、運用を開始する。

PHC 株式会社

エプレディア病理事業推進部

〒105-8433 東京都港区西新橋 2-38-5

tel. 0120-878-279

wg-inq_epredia@ml.phchd.com

<https://www.phchd.com/jp/epredia>